

立場を変えてみること出てくる問いが変わってくることがおもしろいと思った。
ニュースや新聞は客観的に見たりすることが多いけど、そこにはない側面を見ることがおもしろいかもしれない。

自分は新聞というものは普段読まないけれど、1つの事実や出来事を多角的な視点で見ることで、他にも様々な問題や思考が浮かび出てくるということを改めて深く理解できました。そして、新聞はそのテーマのきっかけとなるツールとして良いものであり、これから多角的に情報を見ることが新聞も読んでみたいと思った。

今回記事を選んで問いを考えると深めることは時間が少なくてあまりできなかったが、今回選んだ事件はなぜおこったのかなどを件数データなどをもとに考えていくことに決まらぬので次回からがんばっていきな。

今回の新聞の記事から問いを深めることをして、感じた事は、様々な人から様々な見方ができて、色々意見を深めることができたという事です。今回僕達のグループは「発砲」に関する記事で、その重カ木幾中詳細など新聞に書いてあることだけでなく自分たちの意見交換やネットで調べることなど、積極的にできたと感じました。

前回と今回の新聞から問いを深める授業で、ただ新聞の内容を知るだけではなく、他の情報源からも情報を得ることで様々な視点からの考え方が知れることが分かり、これからは活かしたいと思いました。

最近では、ネットニュースが普及しているため、あまり新聞紙を系々る機会がなく、久しぶりに読んだが、ネットニュースとは違い色々なジャンルの話題に触れることができたので、ために
なった。

今回神戸新聞の人に来てもらって分かったこととしては、新聞のレイアウトをして内容をより伝えやすくすることを学びました。僕たちは食品ロス(学校の給食)について考えました。給食を残すことは僕が小学生の時にもある問題だったので、問題点と解決策を考えて何が悪いのか、良いのかを教わって良かったです。

グループで新聞の内容について話し合いや考えを言い合ってより深く内容を理解を少しできた。新聞を読んだり内容を深く知ろうとしたことが今まであまり無かったので、良い体験になった。

新聞の記事の構成の工夫や読みかたというのを学べた良い機会になったと思います。個人的に知識が必要だと感じました。記事を読む以前に単語の意味が分からなければ、内容理解を深めることができないので必要だと思います。

今回は「寒波」について問いを深めました。自分たちで問いを立てるのは始めの方は難しかったですが、新聞社の方、先生に助言を頂きながら問いを考えました。どこから眺めるかで問いは違ってくるのが分かりました。問いを重ねて問いを考えてほしいです。このような体験ができるのは良かったと思います。

新聞のみひらき たいけい たくさんの
といがでてきて そのといについて
記したら もっとよいといと
思った。

私は常日頃行っている事ではありますが、
改めて、「解からない事はすぐに調べる」ことの大切さと、
有用さを感じることができました。
そうすることで、物事をより体系的に解釈し、考えることができました。